



「枚方フェスタ2017」に展示された自衛隊車両。これが「市民のまつり」でしょうか。自衛隊の参加を許さない市民の運動が広がっています。(8月26日 市役所駐車場)

平和がいちばん

2017年9月15日
第123号
平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会

「枚方まつり」の主役は自衛隊？

8月26日・27日に開催された「枚方フェスティバル2017」に自衛隊が“大々的”に登場しました。オープニングパレードと市民会館大ホールでの吹奏楽演奏、そして駐車場一角での展示ブース。フェスタの主な場面にすべて登場し、市民のまつりではなく、自衛隊が「主役」のようでした。

とりわけ異様な光景が展示ブースでした。迷彩を施した大きな装甲車が会場内を威圧し、迷彩服の隊員が中高生などの若者たちに入隊勧誘、幼児には隊員服を着せて軍事車両を背景に写真撮影のサービス。フェスタの趣旨は「まつりを通して市民が故郷の文化・歴史・伝統に触れ理解し、誇りある枚方を発信する担い手となる」。この趣旨と自衛隊の露出は全く適合しません。1931年の禁野火薬庫大爆発の日を「平和の日」として刻み、府下で最初の非核平和都市宣言をした枚方市に、武装した自衛隊が

大々的に登場するのは、市の行政姿勢と市民感情から認められるものではありません。

市民はこの自衛隊の出場を直前まで知らされませんでした。7月末に配布された『広報ひらかた8月号』のまつりのお知らせページには、自衛隊の「自」の字もありません。開催まで1週間を切った日に新聞折り込みチラシで初めて自衛隊の参加を知らされたのでした。まつりに参加する市民は「だまし討ち」にされたのです。

武器・兵器や違憲の軍隊と市民生活の境界には厳格に線を引くべきです。日常風景にすることを拒否します。ましてや子どもたちに近づけてはなりません。好奇心旺盛な子どもたちはその形態や威力に興味を惹かれますが、その武器が人を殺傷するためのものであることにはまだ思いが及びません。市民まつりへの自衛隊の参加は絶対反対です。

意見

香里ヶ丘図書館建替えに注目

古谷 広美

みなさん、ご存じでしょうか？ 市の南部にある香里ヶ丘図書館が建て替えとなり新しく生まれ変わります。この図書館、築年数はわかりませんが見た目はかなりボロボロです。私は子どもの頃から三十年以上利用していますが、見た目や施設内がどうであろうと、特に気にはすることなく利用し続けてきたので、建て替えの話聞いた時も「そうなんや〜」くらいの関心度でした。そんな私が図書館の建替え計画に関心を持ったのにはいくつかの理由があります。その内の一つを紹介します。

かつて、図書館に隣接する香里ヶ丘中央公園に美術館を建設するという話が持ち上がりました。それは、公園にあるたぐさんの樹木と引き換えに施設を建てるという計画でした。自然がなくなるということは近隣に住む私達にとっては大きな問題なので、香里ヶ丘中央公園を守る！と起ち

あがりました。結局、計画は白紙となり公園の緑は守られました。そして今回の図書館建替え計画ですが、市は「図書館の建替えと公園の再整備を一体的に進める」と言っています。図書館を建て替えるだけじゃなく公園も触るの？ 公園の緑はどうなるの？ 先月イメージ図が出されましたが、素人目に見ても自然がかなり犠牲になりそうな設計です。美術館建設計画の時には公園の樹木を巡って市民と行政で随分やり取りしたはずなのに…。まだ決定ではないようですが、今後公園を見守っていく必要がありそうです。

現在、「こんな図書館になつたらいいな」という市民の具体的な提案が多くなっています。また市内にはいろいろな形で図書館に関わっている人達がたくさんいます。行政と市民が協力して計画を進めていけば、きっと素敵な図書館に生まれ変わることでしょう。

手塚たかひろ 議員日誌



8月17日 **森友学園問題の大阪地裁公判傍聴** 木村真豊中市議が国に売買価格の開示を求めた裁判。国は森友学園に迷惑がかかるからと開示を拒否。マスコミ等で金額は明らかにされているにも関わらず、国は頑なに情報隠蔽を続けた。木村氏側の追及が鋭く真つ当なため、8月国は突然開示し、裁判の棄却（終了）を訴えた。木村氏は訴えを損害賠償請求に切り替え、裁判所はその主張を認めて裁判は続行されることになった。森友問題についてはごみ処理費用の水増しなど国が不当に安く売ったことが明らかになっている。加計学園問題でも工事費の水増し、補助金の不正請求の疑いが強くなっている。森友 加計問題は終わっていない。丁寧に説明すると言いながらも、臨時国会の開催要求も棚上げにして安倍首相は逃げ切ろうとしている。大阪府松井知事の関与も濃厚だが、維新・公明などは府議会での百条委員会設置すら拒否している。裁判終了後、大阪府庁までデモ行進し、府庁前で抗議集会。「松井知事は真相を明らかにし、責任をとれ」と参加者は怒りの声をぶつけた。

8月31日 **大飯原発3, 4号機の再稼働に同意しないことを求める要望書を福井県知事に提出** 同趣旨の意見書の採択を求める請願を福井県議会議長に提出。私をはじめ反原発自治体議員・市民連盟関西ブロックの自治体議員など9名の連名。関西電力は、大飯原発3号機を来年1月に、4号機を4月に再稼働すると発表。原発が安全でないこと、立地自治体や30キロ圏の自治体で避難計画も確定していないこと、など住民の命と財産を守ることができない再稼働は許されない。使用済み核燃料の中間貯蔵場所も決まっていない。福井県知事は県内受け入れを拒否している。こんな状態で再稼働に同意できるのかと参加者全員が訴えた。関西の議員と市民が共同して若狭の原発の再稼働を許さない取り組みを大きくしていきたい。

8月21日 8月分議員報酬から217,400円を大阪法務局に供託 **私は政務活動費は一円も受け取っていません。**

ホッと タイム

「脅威論」をあおり進む軍拡 - それこそ脅威！ 松田久子



8月29日北朝鮮がミサイルを发射しました。その時、TV局のすべてが通常番組を中止してこの問題を取り上げていました。安倍政権は脅威をあおり、圧力を更に強めていかなければならないと軍事力の増強にひた走り、緊張を一層煽っています。先日、来年度予算の概算要求が報じられていましたが、「防衛費」の要求額は5兆2551億円で過去最高。その主な中味は、あの死亡事故続きの欠陥機オスプレイ4機の購入（457億円）を初め、新型護衛艦2隻（964億円）、新型潜水艦1隻（715億円）、戦闘機「F35A」6機（881億円）等々、目をむくような金額が並びます。それだけでなく陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」2基（1600億円+200人程度の要員人件費）は含まれておらず、また滞空型無人偵察機「グローバルホーク」3機（630億円予測）について

も導入を決定しているが、機体組み立て費の144億円が含まれているだけで、今後、更に要求額は増える可能性があります。北朝鮮や中国の脅威を煽りながら攻撃的兵器の拡充にこのような膨大なお金が充てられようとしています。この軍事費を社会保障費に回せばどれだけの私たちの生活の向上が図れるか想像に難くありません。

今必要なのは軍事力に頼らない本気の平和外交です。「先制攻撃はしない」「核兵器禁止条約締結」等を正面に掲げた対話こそが一番大切であり、私たち市民を戦争の惨禍に再びさらさない政治が必要です。それと真逆の方向に進もうとしている安倍政権。私が代表を務める署名実行委員会で8月より取り組んでいる「安倍政権即時退陣！憲法改悪を許さない署名」の意義がますます重要になっています。

〒573-0027

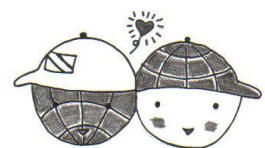
枚方市大垣内町
2丁目8-27
シンエービル別館A
市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX
072-846-8780

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)
鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)
奥村 秀二 (弁護士)
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)
事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)
スタッフ 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス：hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク
塔本賢一さん作